

青果物



山形県 寒河江市海外輸出推進協議会 『さくらんぼ(紅秀峰)を台湾、マレーシアへ』

【主な品目】

さくらんぼ

【主な輸出先国・地域】

台湾、マレーシア

【輸出取組の概要】

- ◆ 平成25年から台湾へ、平成27年からマレーシアへの試験輸出に取り組む。
- ◆ 佐藤錦より果肉が硬く、より日持ちする寒河江市生まれの「紅秀峰」を輸出。
- ◆ 米国産さくらんぼとの差別化を図り、富裕層をターゲットとした販売戦略を実施。

【輸出実績】(平成25年より開始)

	輸出額(万円)	輸出量(t)	出荷時期
平成29年度	163	0.54	6～7月
平成28年度	174	0.58	
平成27年度	108	0.36	
平成26年度	30	0.10	

【効果があった取組】

- 日本を印象付けるパッケージデザインの採用により、売上の増加が図られた。
- 店頭プロモーションの継続によるバイヤーとの信頼関係構築が図られた。

【取り組む際に生じた課題】

- ・ 鮮度維持と円滑な流通経路の確保。
- ・ 各国の防除基準に沿った出荷体制の確立。

【生じた課題への対応】

- ・ 輸送コストを考慮し、国ごとに適した輸送方法を実証実験。
- ・ 「寒河江市海外輸出推進協議会」で、各国の防除基準に確実に対応。
- ・ 一般社団法人山形県国際経済振興機構の活用。
- ・ 鮮度保持資材(ポレハシート)の導入。

【対応の結果】

- ・ 輸送、検疫等のスムーズ化と、適正な温度管理による保管が可能。
- ・ 各国の防除基準に沿った出荷体制を確保。

【今後の課題・展望】

- ・ 輸出相手国到達までの輸送時間の更なる短縮と検疫への対応。
- ・ 知名度アップに向けた現地プロモーションの継続実施。
- ・ 輸出国開拓による輸出量増加への対応(平成29年から香港へ試験輸出)。

【活用した支援・施策】 台北国際食品見本市
(Food Taipei2013・JETRO出展支援)への参加

【連絡先】 担当者部署: 寒河江市農林課 TEL: 0237-86-2111



H29台湾での販売状況



マレーシアの百貨店での試食販売(トップセールス)



日本を強くイメージさせる梱包資材の開発と活用